



# 図書館通信

2025年10月 富谷中学校

其の陸



もうすぐ前期も終わり…。1年の折り返し地点です。日も短くなり、暗くなるのが早くなりましたね。そんな秋の夜長に、読書でもいかがですか？

図書室で、新しい本と出会ってみよう。



## 新着図書案内

『こうしてぼくはスパイになった』  
デボラ・ポプキッツ著 服部京子訳  
1944年2月、ロンドン。13歳のパーティーは一冊のノートを拾う。それは秘密諜報員になるための訓練を受けた女性のもので、後半は暗号になっていた。ノートを書いたフランス人女性が行方不明になったと知ったパーティーは…。



タイトル、すごく気になりませんか？  
13歳の少年が、どうしてスパイになったのか。翻訳物ですが、わくわくして一気に読めるかも…。



先月、図書館まつりを開催し、たくさんの生徒の皆さんが、昼休み図書室に足を運んでくれました。

ありがとうございました。  
図書館まつりが終わっても、図書室に来て下さいね。待ってます…。

## 『いぬとねのためのペット防災BOOK』

Rina 作イラスト 鈴木正芳監修

地震や台風が起きた時、ペットも人と同じように逃げなければならない。「これだけはまず知っておくべき」というペット防災の基本をイラストと一緒に紹介。



もし地震や台風が起きたら、避難する時にペットをどうするのか…。前もって考えておくことは、大切です。



## LOOK! 本の帯POP



図書室後方の戸の窓に、カラフルな本の帯のPOPがあるのを、ご存じですか？（廊下から見える）随時種類を変えて、10点掲示してあります…。

本の帯とは、キャッチコピーなどが刷られた紙の事。とてもきれいな色合いやインパクトのある言葉、さまざまな素材の紙や著名人のコメントなど…、面白い本の帯がたくさんあります。（本を購入すると付いてきます。）

廊下側の本の帯を見て気になったPOPがあったら、図書室の中に入って、どんな本なのか見てみましょう。あなたのイメージ通りの本かな…、違った？

本の帯のPOPと実物の本、見比べてみましょう。そして、気になった本は、ぜひ借りて読んでみてください。



## 『正しく疑う 新時代のメディアリテラシー』

池上彰監修

いまや誰もが発信者の時代。気をつけないと自分が加害者になることもあります。また、情報の受け取り方にもコツが必要です。情報との向き合い方、発し方を、



マンガやイラストで分かりやすく紹介します。疑ったらきりがないけど、分かっていたら対応できます…。

